治

四年

画数 8
筆順 氵 氵 治
オン ジ・チ
クン おさ＝まる＝める・なお＝す＝る

成り立ち

「人が口をあけてよろこぶ」ことを表した〝台（2年186）〟と、川の流れを表した〝氵〟とを組み合わせて作った字です。

むかしは、川がよくはんらんして、家や田畑をおし流しましたので、人々はそれに大そう苦しみました。だから、「川がおさまる」と、なによりもよろこびました。それで、〝氵〟と〝台〟とで〝おさまる〟ことを表しました。

例 治水。

「世の中がおさまる」「国をおさめる」という意味にも使います。例 治世、政治、統治。

また、「悪い所をなおす」という意味にも使います。例 治療、退治、根治。

使い方

▽ぼくは遊んでいる時、けがをしたのですが、お医者さんに治療してもらったので、今はもう治りました。

熟語例

▽治水（水を治めること。川に堤防を築いて洪水を防いだり、田畑に水を引いたりすることをいいます。「治水工事を行ったので、川の両岸に住む人は安心できるようになった」などというふうに、つかいます。）

▽治世（世の中を治めること。また、よく治まった世の中のこと。）

▽政治（国を治める仕事）

▽統治（統べ治めること。国や国民を治めることです。「ビクトリア女王は数多くの植民地を統治していた」などというふうに、つかいます。）

▽治療（病気やけがを治すこと。）

▽退治（悪いものをやっつけること。「植物にたかっていたアブラムシを退治した」などというふうに、つかいます。）

▽根治（病気を根本的に治すこと。すっかり病気が良くなること。「コンチ」とも読みます。）

辞

四年

画数 13
筆順 ⺍ 舌 辞 辞
オン ジ
クン や＝める

成り立ち

〝話（2年243）〟す意味を表した〝舌（5年764）〟と、注射針の形を表し、〝辛い（つらい）〟という意味を表した〝辛〟とを組み合わせて作った字です。

「つらい話（言いにくい話）を言う」という意味の字で、「わかれのことばを言う」ことを表した字です。

「わかれのことば」という意味から、〝わかれる〟という意味や、〝ことば〟という意味にも使われます。例 辞世、辞去、祝辞、辞書。また、「仕事を〝やめる〟」という意味にも使われます。例 辞職、辞任。

〔旧字体は〝辭〟で、境界（冂）でとっくみ合う子ども（厶）を両方から引き分ける（爪・ヰ）ことを表した字。「争いをおさめる」のが本義〕

使い方

▽ぼくのおとうさんは、定年で会社を辞めることになりました。おかあさんは「長いこと、ご苦労さまでした」と言っていました。

▽わたしは、わからない字は辞書で引くことにしています。最初はめんどうくさいと思っていましたが、このごろは、いろいろな言葉を調べるのが楽しみになりました。

熟語例

▽辞世（この世を去ること。死ぬこと。また、死ぬ時に残しておく和歌や俳句のことをいいます。「露と落ち露と消えにしわが身かな難波のことは夢のまた夢」というのは、有名な豊臣秀吉の辞世です。）

▽辞去（あいさつをして、訪問先の家を去ること。）

▽祝辞（お祝いの言葉）

▽辞書（言葉の読み方や意味などを解説した本）

▽辞職（職務をやめること。「辞職願いを会社に出した」などというふうに、つかいます。）

▽辞任（任務をやめること。「辞職」と同じ意味につかいます。）